



第1弾

卵1個分からはじめる減量



6月は環境月間

ごみ減量プラン発動

この地球で住み続けるために

ごみを減らすことはSDGsの重要な取り組みのひとつです。今月から、シリーズでごみ減量に関する特集をお届けします。

みんなの力で、ごみを削減しましょう。

資源循環推進課 (☎228-7479 FAX228-7063)

環境事業管理課 (☎228-7478 FAX229-4454)

ごみ減量プランはこちら



日本の食品ロスは世界中で飢餓に苦しむ人々に送る食糧援助を大きく上回ります。一人ひとりの「もったいない」の気持ちを大切に。

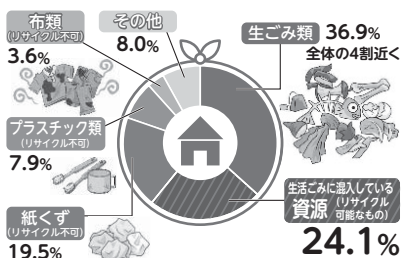
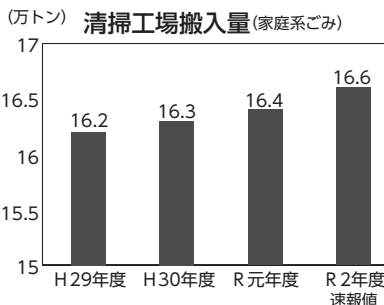


資源循環推進課職員

(近年ごみが増えています!) (ごみは減らすことができます) (一人ひとりがごみを削減し目標を達成しよう!)

家庭から出るごみ(生活ごみ、粗大ごみなど)の量は、市の人口が減少しているにも関わらず、近年増加しています(下グラフ参照)。また新型コロナウイルス感染症の拡大による影響で、今後も家庭から出るごみは増加することが見込まれます。

清掃工場で処理できるごみの量には限界があります。また、ごみを減らすことができれば、資源を守り、ごみを処理するエネルギーを減らすことにつながります。ごみの減量に更に積極的なご協力をお願いします。



家庭から出るごみのほとんどを占めるのは「生活ごみ」。生活ごみのうち、一番多いのは生ごみ類で、全体の約37%を占めています。その中には、「手付かず食品」や「食べ残し」などの食品ロス(まだ食べられるのに捨てられるもの)も含まれています。

次は、本来分別してリサイクルできる資源(紙類、プラスチック製容器包装、ペットボトルなど)が全体の約24%を占めています。生活ごみの半分以上が、減量かリサイクルが可能なものです。食べ物や資源を大切に、食品ロスの削減や分別・リサイクルに取り組みましょう。

プランでは、1人1日あたりの家庭系ごみ排出量63グラムの削減を目標としています。これは、Mサイズ卵1個分または空のペットボトル2本分の重さにあたります。また生ごみを絞るなど水きりするだけで、生ごみの10%を削減できます。

心がけて減らせるごみ

レジ袋1枚	5グラム
割りばし1膳	5グラム
紙袋(大)	50グラム
ごはん1杯	100グラム

すぐできる!食品ロスを含む生ごみの削減

- 期限が近い食材から使う
- 食べきれない分だけを計画的に購入・調理
- レシピサイト「消費者庁のキッチン」を検索して、余った食材を使い切る
- 食べきれなかった食材は冷凍などして保存
- 外食時は食べきれない量を注文

その他マイバッグ・マイボトルの持参、ごみ出しの工夫など、一人ひとりの心がけによりごみを減らし、いつまでも住み続けられる地球をめざしましょう。

限りある資源の有効活用を

資源を大切に使うためにも、ごみを正しく分別するとともに、再利用可能なものはリユースショップを活用したり、利用してもらえる人に譲ったりしてごみにしないようにしましょう。資源とごみの出し方は市ホームページ(2次元コード)参照。

資源循環推進課



小型家電の適正排出にご協力を

市役所・区役所や市内協力店舗計21カ所に回収ボックスを設置し、家庭で不要になったデジタルカメラ・携帯電話・ノートパソコンなどの小型電子機器類を回収しています。

対象でないものの投入により、再資源化に支障が生じています。適正排出にご協力をお願いします。

回収品目やボックス設置場所などは、市ホームページ(2次元コード)参照。



環境にやさしい協力店舗のご利用を

市では、小盛りメニューの導入や食べ残し削減の啓発活動などに積極的に取り組む飲食店・宿泊施設を「食べきり協力店」、使い捨てプラスチックや食品ロスの削減など、環境に優しい取り組みを行う店舗を「エコショップ」として、それぞれ登録しています。登録マーク(下画像)を各店舗へ掲示していますので、見かけたらぜひご利用ください。

登録店舗は随時募集しています。登録店舗一覧、登録条件や申請方法などは、市ホームページ(2次元コード)参照。

登録マークをリニューアルしました!

食べきり協力店



エコショップ



対象でないもの	出し方の注意点
●電池類・蛍光管・電球	●袋や箱は取り除き、持ち帰りください
●CD・DVD	●電池は取り外してください
●ボックス(投入口15cm×30cm)に入らないもの	●個人情報(住所や氏名)は消去してください
●事業所から排出されたもの	